



総合学術調査報告書発刊によせて

三好市長 黒川 征一

阿波学会紀要第62号「三好市総合学術調査報告書」発刊にあたり、ひとことご挨拶を申し上げます。

この度、阿波学会による平成29年度と30年度の2ヶ年におよぶ三好市総合学術調査の成果がまとまり、その報告書が発刊される運びとなりましたことに、心からお慶び申し上げます。

平成29年8月8日、三好市池田総合体育館において、関係者多数のご参加のもと結団式が挙行され、13班という多方面な調査団より専門的な学術調査を実施していただきました。平成30年4月28日には同じく総合体育館において、中間報告会も開催され、各分野から充実した内容の発表をしていただきました。

調査団の皆様方には、調査期間中様々な気象条件にもかかわらず、精力的に地域内を踏査され、多くの調査対象に対して、大変なご苦労をされたことと拝察いたします。市としての支援も行き届きませんでしたが、調査団の皆様のご熱意と市民各位のご協力により、所期の目的を達成し、多大な成果をもって調査が終了されました。ここに改めて阿波学会、県立図書館の関係者並びに市民各位のご尽力とご協力に対し、衷心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。

本市は、四国一広大な面積と剣山国定公園の中心をなす剣山や祖谷川があり、徳島県の大動脈である吉野川が作り出す大歩危小歩危などの景勝地が数多くあります。また、豊かな大自然で営まれてきた人々の生活や活動の積み重ねで、良好な文化的な景観が形成されています。本市では、こうした良好な資源を保存活用するために、様々な取組を進め、その維持と向上に努めながら、本市の目指すまちづくりの基本理念である「自然が生き生き、人が輝く交流の郷 三好市～あふれる笑顔と未来のために～」の実現に邁進しております。

今回の社寺建築・農村医学・地質・植物相・方言・考古・昆虫・地方史・地理・クモ類・貝類・民俗・民家・鳥類などあらゆる分野での調査は、当市において貴重な資料であり、これからまちづくりに大いに活用できるものと期待しております。

結びにあたり、阿波学会総合学術調査団の皆様方のご努力とご協力に対し深く感謝いたしますとともに、この調査にご協力ご支援いただきました市民の皆様に心からお礼を申し上げます。阿波学会並びに県立図書館のますますのご発展と、会員各位並びに関係者の皆様方の一層のご活躍をご祈念申し上げ、発刊のお祝いとお礼の言葉といたします。